来迎御和讃













ポイント注意 詠題から同音にてソロ「帰命項礼」。「摂取不捨の」から斉唱。変化部 「観音勢至の来迎は」はしっかりと声を出します。最後のお念仏はしんみりと。

(歌詞は32ページ)

来 迎 和 讃

恵心僧都 御作

きながらようらい みだによらい 帰命頂礼 弥陀如来

- 2 娑婆界をば厭うべし 厭わば苦海を渡りなん 安養界をば願うべし 願ば浄土に生るべし
- 3 草の庵は静かにて 八功徳池に心すみ タベの嵐音なくて 七重宝樹に渡る他
- 4 臨命終の時いたり 正念違わで西にむき 頭を傾け手を合せ いよいよ浄土を欣求せん
- 5 **聞けば西方界の空 伎楽歌詠ほのかなり 見れば緑の山の端に 光雲遥かに輝けり**
- 6 この時身心安くして **念仏三昧現前**し **毫光我身を照し来て 無始の罪障消滅す**

(音譜は30ページ)

- 7 光雲漸やく近づきて **瞻**仰すれば弥陀如来 相好的満し給いて **金**山主の如くなり

- 10 **昔は大悲の御利益を 僅かに伝え聞きしかど 今は阿弥陀の**別接を 心のままに蒙れり
- 11 翼わくは弥陀世尊 行者の鏨いを整念し 大悲誓願あやまたず 来迎引接たれたまえ 南無阿弥陀仏 阿弥陀仏 南無阿弥陀仏 阿弥陀仏